

EDE Student SIG “LA for U” へのお誘い

学生間で協力して 中学生・高校生自身の教育データ分析 & 利活用をサポート！

- 学校の教育データ利活用の最先端を知ることができる
- 中学生・高校生と教育データ利活用を一緒に考えながら実行することができる

2025/03/22

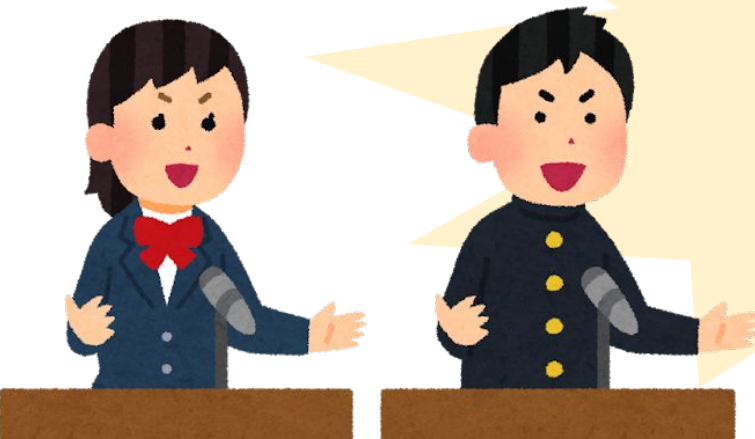
京都大学大学院情報学研究科
博士後期課程1年 濱田 さとみ



“LA for U”とは？

Learning Analytics for You* (*as a student)

- 従 来: 研究者や先生が LAを行い、指導改善を行う
- 本活動: **中学生・高校生自身が「自分の学習のための分析」**を行い、学習に活かす
 - ※私たち Student SIGメンバーはその実現のサポートを行う



*“Learning Analytics
of the student,
by the student,
for the student”*

As Lincoln once said,
“government of the people, by the people, for the people.”
@THE GETTYSBURG ADDRESS



なぜ「生徒自身による LA」が重要なのか？

教育データ利活用ロードマップ *



教育データ利活用は
次のステップに！

初期（～2022頃）

校務のデジタル化・
端末活用の推進

中期（～2025頃）

データを活用した教育へ

長期（～2030頃）

誰もが、いつでも、どこからでも、
誰とでも、**自分らしく学べる**

インフラ整備



ログ収集・データ連携
→学習状況を踏まえた支援へ



Personal Data Storeの実現
→自らのデータを蓄積・活用へ



「中学生・高校生」と「我々」は何をやるのか？

中学生・高校生	EDE Student SIGメンバー
Step 1: 教育データ利活用のブレスト 「普段の学習で何を見て自分にあった学習と捉えているか？」 「現場利用しているダッシュボードでは足りないものは何か？」	 中学生・高校生の ブレストをサポート 左記の問いかけや、既存のデータ利活用の事例などを紹介し、 中学生・高校生のブレストをサポート
Step 2: 分析ツールの利用開始 「データ分析の基本を知る」 「データ分析をまずは楽しむ！」	 中学生・高校生の データ分析の方法を伝授 データ分析の進め方を伝えつつ、 中学生・高校生がやりたい分析ができるようにサポート
Step 3: 教育データ利活用の実践 「普段の学習をデータで追ってみる・振り返ってみる」 「自分の学習はこれが合っている！（マイエビデンス）の発掘」	 中学生・高校生の データ分析 & 考察をサポート 実行中のデータ分析をサポートしつつ、 結果から考察場面もサポート SIGメンバー各々のバックグラウンドも活かして一緒に議論

補足①: イメージ

※生徒およびメンターのイメージ写真は Web公開用に削除しています。

補足②: 教育データはどこから取得できる？

例) LEAFシステム導入校であれば、
eBookの操作履歴やテスト結果など多様なデータが蓄積されている

個別最適化 & 授業改善する。

LEAFシステムは、生徒たちに個別最適化された指導や学習環境の提供を可能にし、同時に、授業を改善して教師の負担軽減を目指すシステムです。

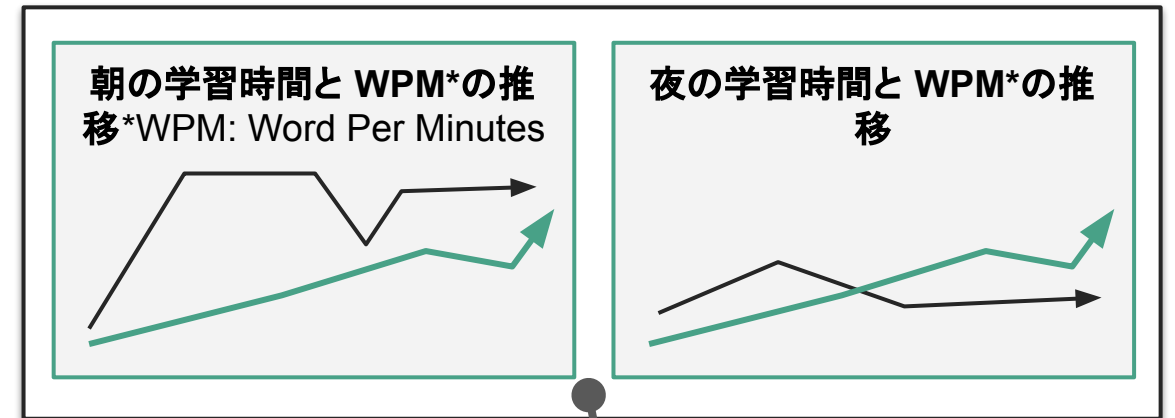
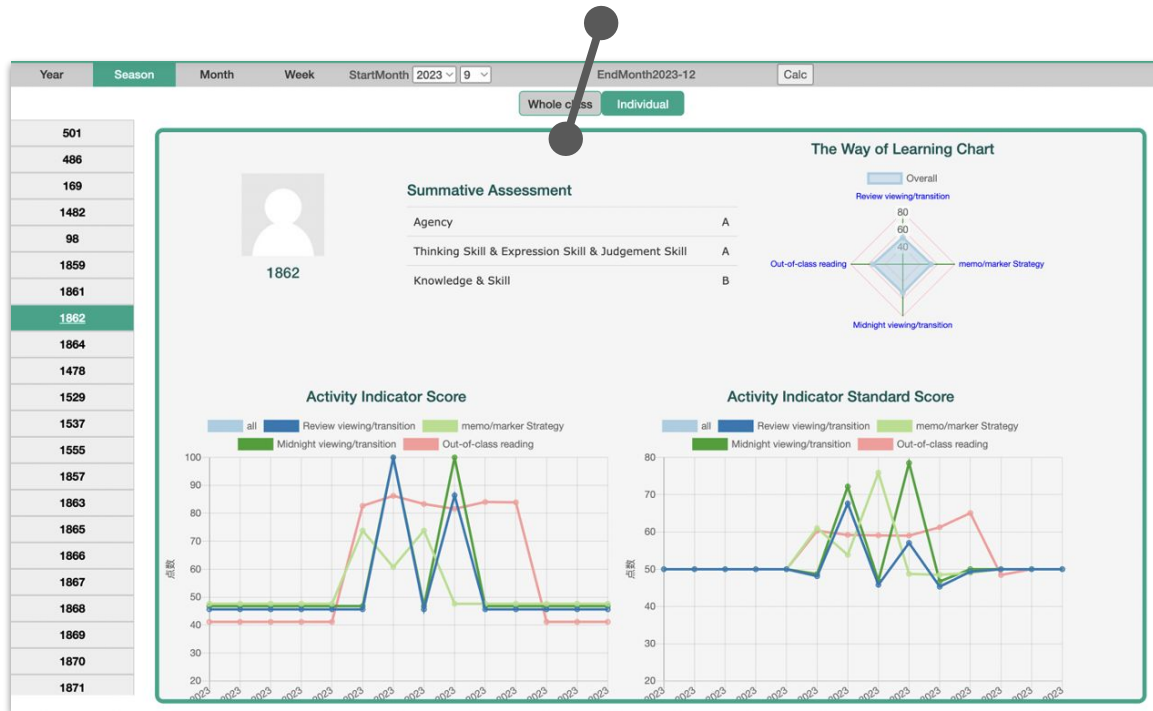
LEAFシステムとは →



補足③: 分析用のシステムは？

学習ログについて指標作成・データ分析ができるシステムを利用予定 例) LEAFシステム搭載の Yinsight、Tableauなど

学習ログ(例: 教材閲覧、回答、成績データなど)
を先生、生徒がGUI形式で分析できる機能



自分で確認したい指標を作成することが可能
「私の指導に対して生徒がどれだけ活動しているか？」
「自分の何の行動が成績UPに繋がっているのか？」
などを先生・生徒が自分で探索可能

いつ、どこで、どうやってやる？

時期	中学生・高校生	EDE Student SIGメンバー
4月		- EDE Student SIG内での参加希望者を調査 (先生向けYinsightワークショップの開催) - 本企画についてLEAF活用校に打診開始 - 対象生徒・最終目標・進め方・スケジュールを調整
5-7月	企画への参加を検討	- 対象校の中学生・高校生に企画を説明 - 対象校の中学生・高校生の参加希望者を調査
8月 @夏休み	Step 1:教育データ利活用のブレスト 「普段の学習で何を見て自分にあった学習と捉えているか？」 「現場利用しているダッシュボードでは足りないものは何か？」 Step 2:分析ツールの利用開始 「データ分析の基本を知る」「データ分析をまずは楽しむ！」	← 中学生・高校生の ブレストをサポート 左記の問いかけや、既存のデータ利活用の事例などを紹介し、中学生・高校生のブレストをサポート ← 中学生・高校生の データ分析の方法を伝授 データ分析の進め方を伝えつつ、中学生・高校生がやりたい分析ができるようにサポート
9月～	Step 3:教育データ利活用の実践 「普段の学習をデータで追ってみる・振り返ってみる」 「自分の学習はこれが合っている！（マイエビデンス）の発掘」	← 中学生・高校生の データ分析&考察をサポート 実行中のデータ分析・結果から考察場面のサポート
年度内	分析の振り返りとマイエビデンスの発表	- 発表会の運営、表彰 - 生徒にインタビュー - まずは実施校内で、生徒自身の教育データ利活用を促進

EDE Student SIGメンバーにとって何が嬉しい？

①学校の教育データ利活用の最先端を知ることができる！

- 最先端の教育データ利活用の現場を知ることができる

②新たな時代の教育データ利活用を、 実際のユーザーである中高生と一緒に考えることができる！

- 現場の学習支援システムをどう捉え、データ活用に何を求めているのか？
X次情報ではない生の声を聞くことができる

➡現場の様子を知り、一緒に考えることを通じて、
自身の研究にも活かすことができる！

③LAのコミュニティを学校現場にも広げることができる！

- 自分たちの研究活動を現場に繋げる土台にもなっていく



まとめ

1. “LA for U”でやりたいこと

- 中学生・高校生自身の「自分の学習のための分析」を促進しよう
- 以下の活動を中学・高校で企画して進めていこう
 - Step 1: 教育データ利活用のブレスト
 - Step 2: 分析ツールの利用開始
 - Step 3: 教育データ利活用の実践
- 今年度は1学校内で「自分の学習のための分析」の結果を共有し、浸透させていこう
- 次年度は複数学校に広げていこう

1. 今後案内するフォームからご参加ください

- 学生同士で交流・協働しよう
- 実際の学校現場で、実際のユーザーと教育データ利活用を考えよう
- 現場の声を知って、自分の研究にも活かしていこう